

【取組み内容】

- ・ 山都町社会福祉協議会との連携で、認知症予防パズルの第1人者・川畑智氏の監修を受け「好きっ通潤パズル」を開発。
- ・ 初年度は、100セットを製作して地域のサロンに寄贈。
- ・ 普及のためにパズル大会を開催し、年間200セットを販売。
- ・ 製造は林業科学科の授業で実施し、すべて手作りの製品。
- ・ 上天草高校福祉科との林福連携の取り組みを企画し、障害者スポーツ「ボッチャ」などに関連した交流を実施。



評価項目ごとの取組みの特徴・ポイント

普遍性	町の福祉行政や(株)Re学の協力で、国産材を活用した安価で誰もが楽しめる福祉用具を開発。全国へ販売し高齢化社会の課題を解決する。
包摂性	高齢者等の認知症発症リスクの低減が期待でき、マスコミやSNSによる紹介で全国からの注文があり、すべての人の健康維持が期待できる。
協働性	山都町福祉課・山の都創造課、社会福祉協議会、(株)RE学、上天草高校福祉科など行政等の専門家や高校生と協力した取り組みを行っている。
統合性	地球温暖化防止等に関する林業と高齢化問題に関する福祉の分野が連携して、経済・社会・環境における課題を解決する取り組みである。
透明性	PDCAサイクルに基づいた探究的な学びを学会発表等につなげ、様々な専門家からのアドバイス頂き、よりよい活動につなげている。

貢献するSDGsのゴール

